

知事コメント

(北陸新幹線臨時列車の指定席発売見合わせの発表について)

令和2年4月3日

富山県知事 石井隆一

- 本日、JR 東日本・西日本より、全国的な新型コロナウイルス感染症の発生に伴う利用状況を踏まえ、先般発表されたゴールデンウィーク（GW）期間（5/1～6）の「臨時列車」に続き、GW期間明けの5月7日から5月31日に運転される「かがやき」及び「はくたか」の定期・臨時列車（定期1250本と臨時116本の合計1366本）のうち、116本の「臨時列車」についても、指定席の発売を見合わせると発表があった。
- 今回の発表により、春期間（3/1～6/30）全体の「かがやき」及び「はくたか」の定期・臨時列車の本数（定期6,100本と臨時604本の合計6,704本）から見れば、約3%相当とはいえ、先般発表のGW期間（5/1～6）を含め5月全般の「臨時列車」の指定席発売を見合わせる事になったことは、残念である。
- 新型コロナウイルス感染症については、本県においても3月30日に県外からの帰県者の感染が確認され、その拡大防止に全力を挙げている。
- JR 東日本・西日本におかれては、新型コロナウイルス感染症の状況も見極めつつ、北陸新幹線の利用回復・利用増に向け、新幹線の安全・安定輸送や、「臨時列車」を含めた早期の完全復旧、誘客キャンペーンの実施などに真摯に取り組んでいただきたい。
- 県としても、引き続き、新高岡駅に停車する臨時「かがやき」や黒部宇奈月温泉駅に停車する臨時「はくたか」の設定など繁忙期を含めた「臨時列車」の復旧や、利用者の利便性確保等のため、幅広い関係者の皆様と連携しながら、関係機関に要請してまいります。